



令和3年1月29日
小田原市立下中幼稚園

新年が明けてから、早いもので、もう一ヶ月が過ぎてしまいました。寒い日が続いていますが、子どもたちは、寒さに負けず、汗をかくくらい元気いっぱい園庭で走り回って遊んでいます。よく遊び、よく食べ、寒い冬を乗り切ってほしいと思います。

室内遊びの様子

始業式の日「3学期にはどんなことしたい？」と子どもたちに聞いてみると、「友達といっぱい遊びたい」と口々に言っていたさくら組。「今日はこれを作らない？」「年長さん呼ぼうよ！」など、声を掛け合いながら「友達と一緒に」という気持ちをもって進めようとしています。少し大変なことがあっても、友達と一緒にであれば頑張る力が湧いてくるようで、諦めずに頑張っていたり、相談しながら進めようとしていたりする姿が見られています。



『どんなお菓子がいいかな』と考えたり、「何のお菓子が好き？」とみんなに聞いたりしながら、いろいろなお菓子を作ったりアイスを入れる冷凍庫を作ったりしました。冷凍庫を作るのは大変で、「もう疲れた〜」「明日にしよう」という声も聞かれましたが「作っちゃおうよ!」と、力を合わせ、励まし合いながら完成させていました、このお菓子屋さんの人気商品は、当たり付きのガリガリくんだそうです。

ままごとのキッチンを使ってレストランごっこを始め、お客さんを呼ぶと「ポテトはありますか?」「〇〇もあるといいな」などリクエストがありました。すると「作ってあげますよ」と、少しずつ新メニューが増えていきました。消毒をして入店すると、スパゲティを炒めたり、フライパンをひっくり返してパンケーキを盛り付けたりと、上手に料理しているところをお客さんに見せてくれる楽しいレストランです。



大好きなプリンセスになるためにドレスを作っていると「素敵だな〜私も着てみたいな」という友達や先生たち。その言葉を聞き、「じゃあ、お店屋さんしてみんなも着られるようにしようかな?」と、プリンセスの洋服屋さんが始まりました。可愛い服が並んだお店では「いらっしゃいませ」と深々とお辞儀をしたり「どうぞこちらへ」と丁寧に案内してくれる可愛い店員さんが待っています。

♪たこ たこ あ〜がれ♪

ビニール袋で凧を作った子どもたち。「やってみる!」と、意気揚々と走り出したものの、走っても走っても上には揚がってくれません。「全然高く飛ばない」「家にある凧と違う」と、納得がいかない様子。「もっと高く揚がる凧を作りたい!」と、カラービニールと竹ひごを使って、新しい凧を作ることにしました。完成した凧を持ち、期待を胸に園庭へ。思い切り走ると、ふわっと高く揚がる凧を見て大喜び。まっすぐ走っているときは凧が下がらないこと、走り出すときは短く、上に揚がったら長くして凧糸の長さを調節するといいいこと、風が吹いたタイミングで走るといいことなど、試行錯誤する中でいろいろなことに気付くことができました。



ヤモリちゃん

ある日、2匹のヤモリを貰ったさくら組。「お部屋で飼いたい」と、エサを調べるうちに、生きているクモやガを食べることを知ると「え…」と、ショックを受ける幼児もいました。休みの間、教師が世話をしてみたけれど、何も食べてくれないことを子どもたちに伝え、「このままだと死んでしまう」ということに気付きました。「お別れは寂しいけれど…このまま飼っているのと、ヤモリちゃんが生きていることどちらの方が大切だろう?」と葛藤し始め、「やっぱり逃がしてあげよう」という選択をしました。家に帰ってからも、エサを調べたり、エサとなる虫を探しに行ったりしたことを子どもたちから聞き、子どもたちなりに大切に思い、一生懸命に世話をしようとしていたことがよく分かりました。ヤモリちゃんの飼育を通して、生きるために命ある虫を食べることを知ったり、飼育する難しさなどを感じたりと、多くの学びがあったようです。保護者の皆様にもご協力いただいたことで、子どもたちの学びがより深まったと思います。ありがとうございました。

